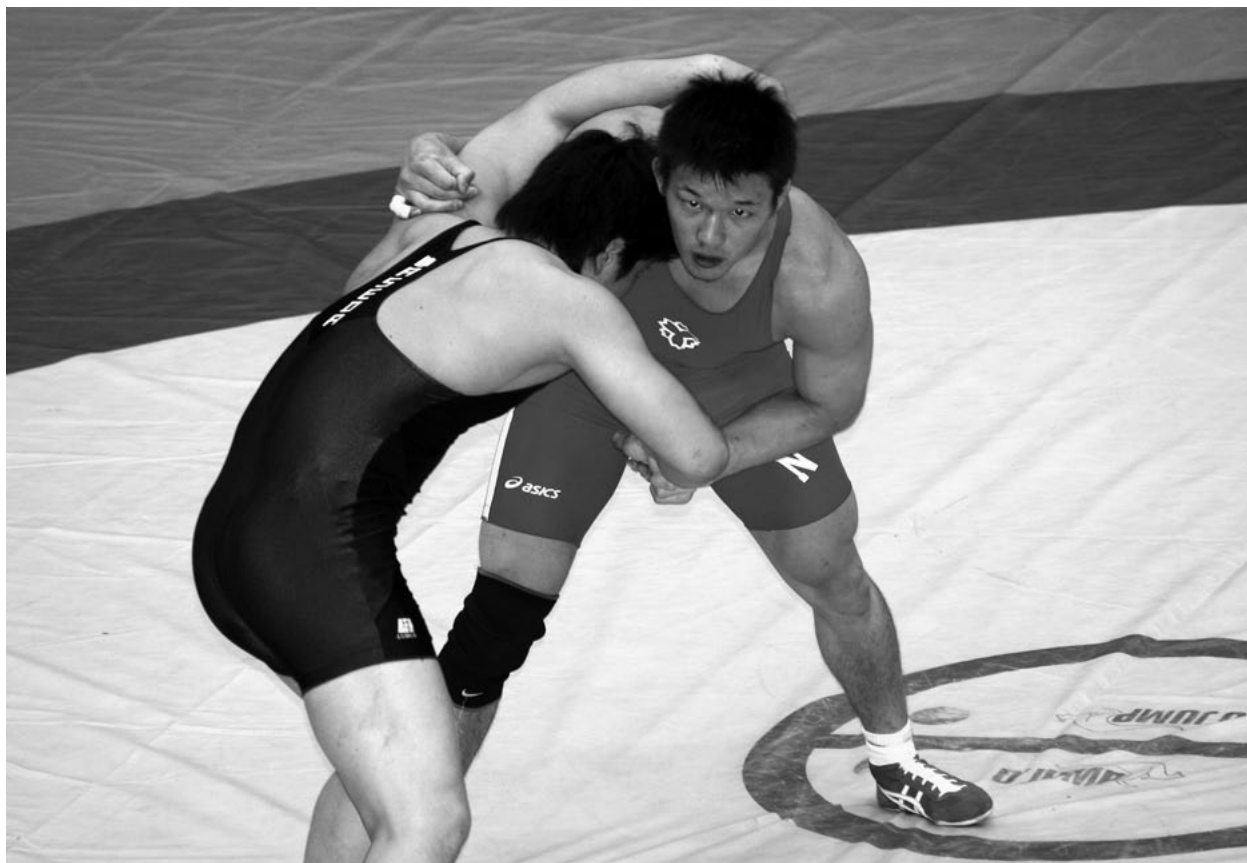


闘虎

No. 14 Wrestling

群馬県レスリング協会広報紙
平成20年 春季号



松本篤史V3達成！JOC杯獲得！

JOCジュニアオリンピックカップ

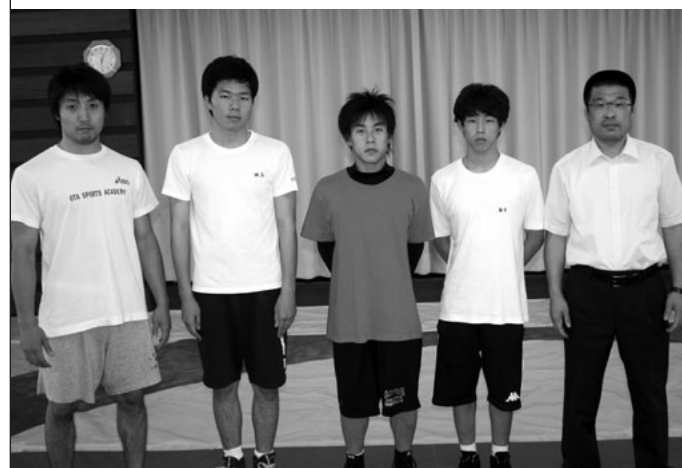
4月26～27日、横浜文化体育館において「JOCジュニアオリンピックカップ」が行われた。この大会は、ジュニア（17～20歳）とカデット（15～17歳）の2部門に分けて行われ、ジュニアで優勝すると世界ジュニア（トルコ）、カデットで優勝するとアジアカデット（カザフスタン）に派遣される。早生まれのため大学3年で出場資格のある松本篤史（千代田Jr-館高一日体大3年）はもはや小鮒の群れを悠々と泳ぐ巨鯉のごとく、余裕の優勝。館高時代にカデットで、昨年はジュニアで優勝、それに次ぐ3度目の優勝を飾り、大会MVPに当たるJOC杯を獲得した。

また、高校3冠王・富塚拓也（明和クラブ-関学附高一日体大1年）が早くも大学デビューでタイトルを獲得、松本と共にトルコに乗り込むことになった（本県選手結果はP2に掲載）。

クラブ探訪

レスラーファクトリーを訪ねて

第14回 太田市立商業高校



強化政策が着々と進行！ 団体戦で全国出場が夢！

「あかぎ国体（昭和58年）優勝者を太田から出そう」という目標の下、太田商業高校レスリング部が誕生しました。その以前にも同好会レベルでの活動はあったようですが、本格始動はやはり「あかぎ前」です。指導に当たったのは、自衛隊体育学校から赴任した荻場勇光先生（現館商工）。国体では太田倶楽部出身の小芦英夫さんが優勝、総合優勝に大きく貢献しました。その後も山梨国体で今村直樹さん（現太田倶楽部監督）が優勝するなど、全国、関東で活躍する選手がコンスタントに育ちました。一時期はレスリング未経験の先生が指導に当たるという時代もありましたが、今では大河義則先生が長らく監督を務め、着々と強化政策を打ち出しています。昨年はJOC王者（神山直人・現拓大1年）を輩出。今年から週2回、インハイ&インカレ覇者・長島正彦さんが練習の初めから最後まで指導に当たれる体制を整えました。現在部員は松島匡、金子佐、坂上正俊の3人。しかし、太商レスリングの歴史はこれからです。インターハイ団体出場の瞬間を夢見て、男たちは今日も汗をキャンパスに染み込ませています。
中学生諸君、就職・進学にも心強い太商に入ろう！

SCHEDULE

- インターハイ予選
6月14日（土）・15日（日）
館林市民体育館
- 全国中学生レスリング選手権大会
6月14日（土）・15日（日）
水戸市スポーツセンター
- 国民体育大会県予選大会
7月19日（土）～20日（日）
明和町社会体育館
- 全国少年少女レスリング選手権大会
7月25日（金）～27日（日）
代々木第1体育館
- インターハイ
8月1日（金）～4日（月）
大東文化大学体育館



野本大地さん（館林市・40歳）
『思い出の一葉』
レスラーレスリング

□この写真は、私が西邑楽高校2年のとき、群馬県チームの韓国遠征での1枚です。この場所は3年後に控えたソウル五輪のメイン会場となった競技場です。私は前列右から3番目。隣はご存知泰兵衛のマスター保足先輩です。面影の欠片くらいはありますか？と思います。当時は割りとイケメンでしたね。私は金子博先生ご指導の下、大変苦しい高校時代を過ごしました。そのおかげで全国選抜、インターハイ、国体の3大会すべて第3位になり、明大にも行くことができ、主将も務めました。写真の韓国の思い出も尽きなくて、仲間が集まるとその時の話で盛り上がり、焼肉やビビンバ、「OBビール」がすぐうまかったですね。淋しいのは今は韓国との交流がないこと、それと西邑楽高校レスリング部の部員が2名しかいないこと。「OB」として、何とかしたいです。

HERO'S IN GUNMA



金澤 翔太選手 (前橋西高校2年)

自分はJOCにグレコローマンで参加しましたが、組み合わせを見たとき、フリースタイルで自分が負けている選手が入っていたので、「優勝は厳しいな」と感じました。でも、グレコでは何とか勝つことができ、決勝まで行って優勝を強く意識しました。池田圭介選手にJOCでは勝てたけど、今日(5/12県総体)は負けました。池田選手を倒して全国で上位! が自分の目標です。

**戸ヶ崎飛翔駆け上る!
最優秀選手賞獲得!**
館林市民春季レスリング大会

5月10日(土)、城沼体育館で「館林市民春季レスリング大会」が行われた。館林Jrの新エース・戸ヶ崎飛翔が最優秀、田口拓海(明和)が優秀賞を獲得した。

優勝者は次のとおり。
【中学生】◇42kg級 戸ヶ崎飛翔(館林) ◇47kg級 木村安里(千代田)

- ◇53kg級 金子和(同) ◇59kg級 畑本顕司(おおた) ◇66kg級 鈴木海人(太田) ◇73kg級 今村聖(同) ◇73kg級 齊藤修弘(同)
- 【小学5/6年】◇30kg級 八山裕紀(千代田) ◇34kg級 戸ヶ崎海渡(館林) ◇39kg級 田口拓海(明和) ◇45kg級 萩本龍(千代田)
- ◇51kg級 木村優太(同) ◇51kg級 石岩寛鷹(邑楽)
- 【小学3/4年】◇24kg級 木村智洋(館林) ◇28kg級 小林優希(大間々) ◇33kg級 石岩三奈(邑楽)
- ◇39kg級 田部井祐太(同) ◇42kg級 西川真由(伊勢崎)
- 【小学1/2年】◇20kg級 藤生乙葉(大間々) ◇24kg級 神藤俊(邑楽) ◇28kg級 石川弘人(同) ◇28kg級 小林奏音(同)

3月16日(日)、大間々東中体育館において「少年レスリングおおま大会」が行われた。この日も千代田ジュニアの中学生が大活躍。佐々木颯斗(太田倶楽部)が全国王者の意地を見せ幼年最後の試合を制した。

県内の優勝者は次のとおり。
【中学生男子】◇66kg級 栗原吹(千代田) ◇73kg級 亀山晃寛(同)

◇73kg級 木村政貴(同)

【中学生女子】◇44kg級 木村安里(千代田) ◇50kg級 金子和(同)

【小学5/6年】◇48kg級 木村優太(千代田)

千代田の中学生強し! 佐々木颯斗有終V! 少年レスリングおおま大会



館林の飛翔(つばさ)も羽ばたくか!

- 【幼年】◇17kg級 清水聖矢(邑楽) ◇21kg級 藤倉優花(同) ◇21kg級 坂上拓瑠(明和)

長井先生プロレス参戦! 飛龍原爆固めで勝利! 邑楽町制40周年プロレス

5月18日(日)、邑楽町民体育館で「邑楽町制40周年プロレス」が行われた。この日の第1試合6人タッグマッチに大泉高校の長井保幸先生と明和クラブの井汲コーチがプロレスデビュー。井汲コーチがダブルアームスープレックスを決めると長井先生はジャーマンスープレックスで対抗。最後は長井先生の秘技・ドラゴンスープレックスホールドを決め、勝利を収めた。休憩時間を使って、邑楽ジュニアの選手がリングに上がり、日ごろの練習を披露した。



鮮やかなブリッジで決めた飛龍原爆固め!

金澤翔太(前西)アジアカデット出場

ジュニアオリンピックカップ

ジュニアの部では表紙にあるように、松本篤史、富塚拓也の団体コンビが優勝したが、カデットでも本県選手は大いに奮戦、中でも金澤翔太(前西高2年)の試合が目を見張り、決勝では群馬同士・池田圭介との試合になったが、最後までどちらに転ぶか分からない接戦を制し、見事優勝。日本代表としてカザフスタンに乗り込むことになった。

本県選手の入賞者は次のとおり(数字は順位)。
【男子ジュニア・フリー】◇84kg級



金澤翔太のローリングがカザフスタンで爆発するか!

- ①松本篤史(日体大3年)
- 【男子ジュニア・グレコ】◇60kg級 ①富塚拓也(日体大1年)
- 【男子カデット・フリー】◇74kg級 ③木村政貴(館高1年)
- 【男子カデット・グレコ】◇55kg級 ①金澤翔太(前西2年) ②池田圭介(館高2年)

鈴木紅夏(太田)優勝! 邑楽Jr5選手が入賞! 全日本女子レスリング選手権

4月5日(土)、駒沢公園体育館で「全日本女子レスリング選手権大会」が行われた。本県からも多数の女子選手が参加した。鈴木紅夏(太田倶楽部)が決勝で高校生をタックルでそのままフォールする力強いレスリングを展開し、見事優勝。また、邑楽ジュニアの選手5人がメダルを獲得し、「邑楽の泉」をアピールした。

本県選手の入賞者は次のとおり。
【スクールガール】◇44kg級 ③木村安里(千代田) ◇48kg級 ②金子和(同) ◇52kg級 ③柴崎仁沙(館林) ◇57kg級 ②石岩優奈(邑楽) ◇62kg級 ①鈴木紅夏(太田)

【キッズ3/4年】◇33kg級 ②石

- ◇44kg級 ③木村安里(千代田) ◇48kg級 ②金子和(同) ◇52kg級 ③柴崎仁沙(館林) ◇57kg級 ②石岩優奈(邑楽) ◇62kg級 ①鈴木紅夏(太田)
- 【キッズ3/4年】◇33kg級 ②石

岩三奈(邑楽) 【キッズ1/2年】◇28kg級 ① 小林奏音(邑楽)

吉井翼(富美)優勝! 団体戦は前西高制す! 群馬県高校総体

5月9/11日、館林市民体育館において「群馬県高校総体レスリング競技会」が行われた。関東大会の予選を兼ね、来月にはインターハイ予選も控えていることから、館内は緊張感で張り詰めた。ほとんどの階級で東毛の高校生が優勝する中、グレコ66kg級で富美の吉井翼が意地を見せ優勝。昨年の関東王者・福田翼に続いて今年も富岡から「翼」が羽ばたきそう。団体戦では前橋西高が館高を降し、4年ぶりの優勝。

個人、団体の優勝者は次のとおり(両スタイル優勝者はフリーのみ)。
【フリースタイル】◇50kg級 宗像海(関学) ◇55kg級 池田圭介(館高) ◇60kg級 増谷剛(同) ◇66kg級 橋口光太郎(関学) ◇74kg級 木村政貴(館高) ◇84kg級 小久保直貴(関学) ◇96kg級 木村龍巳(大泉) ◇120kg級 三輪佳正(館商工)

【グレコローマンスタイル】◇60kg級 天野友二(関学) ◇66kg級 吉井翼(富美)

- 【幼年】◇17kg級 清水聖矢(邑楽) ◇21kg級 藤倉優花(同) ◇21kg級 坂上拓瑠(明和)



邑楽ジュニア 石岩 優奈さん(中2)

レスライーン

なでしこGUNMAのレスライーン

弟、妹が先にレスリングを始めました。柔道をやっている私は、「レスリングってどんなスポーツなんだろう?」「柔道に活かせるかな?」という軽い気持ちで見学に行きました。面白そうと思って、気付いたら私もマットに上がっていました。今はレスリングが一番楽しいと思います。初めて参加したクイーンズカップで3位になったときがすごくうれしかったです。好きなレスラーは吉田さおり選手ですが、群馬には世界で2番になった清水真理子先生がいるので、高校に行ったら清水先生にレスリングを教えてもらいたいと思います!

闘虎

No. 15 Wrestling

群馬県レスリング協会広報紙
平成20年 夏季号



吹！聖！和！全中優勝！！

全国中学生レスリング選手権大会

6月14～15日、茨城県立スポーツセンターにおいて「第34回全国中学生レスリング選手権大会」が行われた。本県の中学生レスラーは、この日に備えて週2～3回の練習から毎日練習に切り替え、また、毎月の合同練習やGW合宿などで強化を図り、万全の体制で天王山に臨んだ。その中で、昨年準Vで今年の優勝候補だった46kg級の金子和（千代田）が安定した力を見せ手堅く優勝。昨年は早々と敗れたが、1年間で別人のように鍛え上げた73kg級の今村聖（太田）と66kg級の栗原吹（千代田）が見事優勝。3人の全中王者が誕生した。さらに、41kg級の木村安里（千代田）、58kg級の石岩優菜（邑楽）、鈴木紅夏（太田）が第3位に入賞するなど、群馬レスリングの未来を感じさせる大会となった。

◆発行/群馬県レスリング協会会長 柳川益美 ◆編集/群馬県レスリング協会広報委員会

クラブ探訪

レスラーファクトリーを訪ねて

第15回

関東学園大附属高校



記念の年にインハイ出場
厚みを増した強力布陣！

かつて「闘学」といえば全国的に猛名を馳せ、県内では館林高校と熾烈な争いを繰り広げ、その果てなき抗争が闘学の歴史そのもので、その果てなき抗争が群馬のレベルアップにつながっていたといえるでしょう。指揮官は米山守先生。その猛練習の中からインハイ、国体王者を生み、後の全日本王者（小柴健二・今村雄介）も輩出させています。インハイ団体戦で霞ヶ浦と優勝争いをしていた時代もありました。昨年は闘学史上初となる3冠王（富塚拓也・現日体大1年）が誕生しました。

さて、時は移り、監督は田中真人さん、指導しているのは米山先生の息子・祥嗣コーチ。昔にはなかった明るい雰囲気の中にも真剣さを失うことないメリハリある内容。そしてチームの強みである「厚み」を強く感じます。

「全階級が揃い全国で勝負できるのは県内でウチだけ。今年のインハイは経験不足で1回戦敗退でしたが、来年は勝負できますよ！」と米山コーチが力強く語ります。常に声を出し、練習の雰囲気作りに余念のない主将・宗像海選手も「目指すは全国上位！」と即答。今年が開校50周年の年。来年はレスリング部にとって「記念の年」にしたいところです。

SCHEDULE

- 国民体育大会
9月28日～10月1日
大分県佐伯市総合体育館
- 県民総体・県高校新人戦・
県小学生総体
11月2日（日）
館林市城沼総合体育館
- 上武洋次郎杯邑楽町
少年レスリング大会
11月16日（日）
邑楽町体育館
- 千代田町近接少年
レスリング大会
12月6日（土）
千代田町総合体育館
- 都市交流大会
12月21日（日）
館林市城沼総合体育館



レスラーの生活

松本宏さん（館林市・40歳）
「思い出の言葉」

□この写真は、館林高校3年の夏休みの貴重なお盆休みを利用して同級生で日光へキャンプに行ったときの一枚です。前左でジュースを飲んでるのが私、右がトモ（小松崎）、後左が川島、後右が茂木です。夏休みの毎日の苦しい練習をかい潜ってのキャンプは最高でした。自分たちで作るカレーのうまさ、寝ずに語り明かすバンガロー。キャンプは好きで毎年行っていました。メンバーは多少違えど私と茂木は皆勤賞でした。この写真のうち、茂木以外は3人揃って東京農大に進みました。今の農大にも2年に館高出身が一人いるそうです。来年も藤岡北高校から行くそうです。群馬からいまだに農大へ進むラインが続いていて、何よりです。私の今の遊び仲間もほとんどレスリング時代の「友」。レスリングは苦しい思い出ばかりですが、友は一生の財産ですね。

HERO'S IN GUNMA



松本 篤史選手 (日本体育大学3年)

自分は、結果としてインカレで優勝できたことはすごくうれしいと思いますが、同じ日体大で昨年優勝した先輩も優勝候補で、その先輩を倒して優勝したかっと思ひます。その先輩は怪我をして途中棄権したので、自分は本命不在のチャンピオンという気がします。もう一度技術を見直して12月の全日本選手権で優勝できるように頑張ります。

9月6日(土)、城沼体育館で「館林市民秋季レスリング大会」が行われた。
優勝者は次のとおり。
【中学生】◇42kg級 戸ヶ崎飛翔(館林) ◇47kg級 中村旭昇(太田) ◇53kg級 渡邊龍斗(同) ◇59kg級 畑本顕司(おおた) ◇66kg級 栗原吹(千代田) ◇73kg級 今村聖(太田) ◇73kg級 齊藤修弘(同) ◇73kg級 齊藤修

【小学5〜6年】◇30kg級 戸ヶ崎海渡(館林) ◇34kg級 金子麗一(大間々) ◇39kg級 田口拓海(明和) ◇45kg級 萩本龍(千代田) ◇51kg級 木村優太(同) ◇51kg級 井上真央(明和) 【小学3〜4年】◇24kg級 清水翼(邑楽) ◇28kg級 栗原零(千代田) ◇33kg級 吉田陽南(邑楽) ◇39kg級 加藤雅巳(館林) ◇42kg級 田部井祐太(邑楽) ◇42kg級 西川真由(伊勢崎) 【小学1〜2年】◇20kg級 戸ヶ崎桃香(館林) ◇24kg級 清野大輝(邑楽) ◇28kg級 佐々木颯斗(太田) ◇28kg級 石川弘人(邑楽) 【幼年】◇17kg級 加藤敦史(館林) ◇21kg級 清水聖矢(邑楽) ◇21kg級 藤倉優花(同)

戸ヶ崎兄妹(館林)好調! 中学生は太田勢独占!

増谷剛(館高)第3位! インハイの悔恨払拭!

8月19日(火)、大阪・金岡公園体育館において「第24回全国高校グレコローマン選手権大会」が行われた。インハイでは、菊井悠介(前西高)のベスト8が最高で、あとは惨敗という結果だけに、本県選手は引き締め臨んだ。55kg級の増谷剛(館高)が本来の力を発揮し第3位となり、国体への期待がかかる。

群馬の中学生貴重体験 インディアナ州で交流!

7月28日〜8月9日まで、群馬県中学生チームは、長年交流しているインディアナ州へ遠征した。遠征先では4つのまちを回りながら親善試合や練習、観光などで楽しい交流をした。この体験は中学生にとって、学校で習う地理や英語をさらに生きた形で学ぶことのできる貴重な体験となったことだろう。

遠征メンバーは次のとおり。
◇团长 黒澤宏明(千代田) ◇監督 長島正彦(おおた) ◇選手 寺田有李 中村旭昇 小林欣也 杉田強喜 鈴木紅夏 鈴木海人 今村聖 齊藤修弘(以上太田) 小林真也 石岩優菜 関谷雄太郎(以上邑楽) 畑本顕司(おおた)



アメリカ最高! レスリング最高!!

群馬県チーム準優勝! 個人では今村聖優勝!

9月7日(日)、横浜国際高校体育館で「第19回関東中学生レスリング選手権大会」が行われた。今村聖が全国王者の意地で優勝を果たした。成績は次のとおり。

【団体戦】①茨城県 ②群馬県 ③千葉県
【個人戦】◇38kg級 ②増山郁人(千代田) ◇39kg級 ③寺田光輝(太田) ◇42kg級 ②畑本顕司(おおた) ◇47kg級 ①今村聖(太田) ◇55kg級 ②齊藤修弘(同) ③関谷雄太郎(邑楽)

松本篤史(日体大) インカレ初制覇!

全日本学生レスリング選手権大会

8月30〜31日、大阪・金岡公園体育館において「全日本学生レスリング選手権大会」が行われた。フリー84kg級決勝では、館高出身の松本対富実出身の新井という「群馬対決」となったが松本が辛勝、より大きな舞台での勝負を目指す松本にとって、まずは足がかりができた。一方、新井はグレコでも入賞するという地力を見せつけ、今後群馬の貴重な戦力として期待される。



学生の大会では横綱相撲の松本! (写真はJOC)

入賞者は次のとおり(数字は順位)。
【フリー】◇84kg級 ①松本篤史(日

体大3年) ②新井智明(拓大4年) 【グレコローマン】◇66kg級 ③塚拓也(日体大1年) ◇84kg級 ③新井智明(拓大4年)

佐々木颯斗2度目V! 阿部友香2年連続V!

7月25〜27日、東京・代々木第一体育館において「第25回全国少年少女レスリング選手権大会」が行われた。本県からも多数の選手が参加、マット8面を敷き詰めた大きな体育館で練習の成果を大いに発揮した。入賞者は次のとおり(数字は順位)。

【6年】◇45kg級 ②萩本龍(千代田) ◇48kg級 ②佐々木拓海(太田) ◇51kg級 ③木村優太(千代田) ◇57kg級 ③石岩寛鷹(邑楽) 【女子6年】◇28kg級 ③坂本美奈実(大間々) ◇30kg級 ②小林美沙(同) 【女子5年】◇40kg級 ③大出若奈(千代田) ◇40kg級 ③鈴木芽衣(太田) 【4年】◇42kg級 ②田部井祐太(邑楽) 【女子4年】◇36kg級 ①阿部友



2年連続優勝の阿部友香(明和クラブ)

香(明和) ◇28kg級 ③増山汐音(千代田) 【2年】◇32kg級 ③小林奏音(邑楽) 【1年】◇30kg級 ①佐々木颯斗(太田) 【幼年】◇20kg級 ③藤倉優花(邑楽)

新井明恵(富実)準V! 上原(前西)も入賞!

8月17日(日)、大阪・金岡公園体育館において「全国高校女子レスリング選手権大会」が行われた。インカレで活躍した新井明恵や早大に進んだ千明に負けじと妹・明恵も懸命にレスリングに打ち込み、着実にステップアップ。惜しくも優勝は逃したが、来年に期待が掛かる。

なつJUNGNMAの レスクイーン



大泉高校
コルソジメナさん(1年)

私は大泉北中時代、ずっと柔道をやってきました。高校の見学に来て、レスリング部の練習を見たとき「自分にあったスポーツだな」と思って始めました。初めは掴むところがなく、とまどいましたが、練習や試合を重ねていくうち技を覚えられるようになりました。長井先生の指導もわかりやすく何でも教えてくれます。北京五輪の女子レスリングは観ていました。でも、選手の名前は覚えていません。浜口京子選手はわかります。女子オープンでは54キロに出場します。試合でいろいろなるなところにいけるのが楽しいです。将来の夢は保育士です。

闘虎

No. 16 Wrestling

群馬県レスリング協会広報紙
平成20年 秋季号



これが五輪のメダルか！！

松永共広レスリング教室

11月1日（土）、群馬県総合スポーツセンターにおいて「松永共広レスリング教室」が行われた。この日県内の高校生は新人戦があったため、参加したのは群馬大学とジュニアクラブの前橋パレイストラ、太田俱樂部。講演会など多忙な日程をこなした松永選手との練習時間は約1時間。そのため、技術指導はやめて、参加したジュニアレスラーとの総当りスパリングとなり、これには子供たちや保護者が喜び、一人ひとりに見せ場を作る松永選手のうまさに大いに盛り上がった。しかし、ある選手の光速の飛行機投げに松永選手は思わず反転。すかさず同じ技で投げ返した。最後にMVPに相当する「松永賞」は？との質問には「飛行機投げの子」と、太田俱樂部の寺田光輝選手（太田南中1年）を挙げた。仕上げは参加者全員で記念写真を撮って、松永選手は群馬を後にした。

◆発行／群馬県レスリング協会会長 柳川益美 ◆編集／群馬県レスリング協会広報委員会

クラブ探訪

レスラーファクトリーを訪ねて

第16回 西邑楽高校



世界銀の先生が毎日指導
ぐんまの女子の拠点に！

11月22日から3日間、西邑楽高校において女子だけの強化合宿が組まれました。指導するのは同校の清水真理子先生と特別講師として招かれた清水美里さん。参加したのは県内の高校生と中学生20人。この光景を見て、常にこの位の部員がいれば女子の強化ができると感じました。

西邑楽高校レスリング部が誕生したのは昭和56年。元アジア王者の金子博先生（現県協会理事長）により始動、発足当初は2、3人という部員でしたが、熱血指導の積み重ねにより、高校3冠王、後のオリンピック選手、インターハイ団体準優勝など県史に残る戦績を収めています。金子先生の教え子は「金子塾」としていまだに集まりがあり、館林高校の針谷豊監督も金子塾生です。その後、長井保幸先生にバトンタッチされても、関東選抜団体2位、そして後の全日本王者を育てるなど、うまく引き継がれました。そして今、指導に当たるのは元全日本王者、世界選手権銀メダリストの清水先生。「今は苦しいけどやりぬけば必ず得るものがある、やってよかったです」と思えるときが来る。選手にこの想いを強く発しながら指導しています。そのうち「マリコ塾」が結成される日が来るのではないのでしょうか。

SCHEDULE

■天皇杯全日本
レスリング選手権大会
12月21日（日）～23日（火）
東京・代々木第2体育館

■館林市スポーツ少年団
クラブ交流大会
1月12日（月）
館林市城沼総合体育館

■関東高校選抜
レスリング大会
1月31日（土）・2月1日（日）
東京・駒沢公園体育館

■関東甲信越
少年レスリング大会
2月22日（日）
館林市城沼総合体育館



松島秀行さん（邑楽町・37歳）

レスラーの思い出

□「昔の写真を持って来い」といわれ、迷わずこの写真を選びました。編集に当たる茂木先輩から「オレが写っている写真はダメだ」と言われましたが、私（後列左）にとっては館林高校1年生のときが一番印象に残っています。3年の先輩方の強さに憧れ、とても尊敬していました。団体第3位になった岡山のインターハイ。帰りに和歌山県に寄って、高田先生の奥さんの実家にも行きました。砂利を掘ると温泉が出る川。夜の花火大会。バスがエンストして真っ暗な山の中で一晩過ごしたことなど、思い出は尽きません。私は入部当初、3年間やっていけるか不安でしたが、先輩方が優しくしたので、やめなかったのだと思います。今は私も邑楽ジュニアで指導しています。子供たちに、レスリングは厳しいけど、楽しい思い出もたくさんできると伝えていこうね。

HERO'S IN GUNMA



寺田 光輝選手 (太田倶楽部)

オリンピック選手とスパーリングできるなんて、とてもうれしかった。松永選手はとても強かった。スパーリングだけでもうれしかったのに、最後に松永賞を決めるときに、「飛行機投げをしてきた『小学生』(※太田南中1年)」と言ってくれたとき、頭の中が真っ白になるくらい驚いた。目標は全中優勝！ 将来は松永選手のようにオリンピックに出てメダルを獲りたい。

【小学1〜2年】◇20kg級 藤生乙葉(大間々) ◇24kg級 清野大輝



千代田JrのNEWリーダー萩本龍!

kg級 石岩三奈(邑楽) ◇42kg級 阿部友香(明和) ◇42kg級 田部井祐太(邑楽)

松本篤史(日体大)強し! インカレに続き優勝! 全日本大学レスリング

11月15・16日、新潟県体育館において「内閣総理大臣杯全日本大学レスリング選手権大会」が行われた。各大学から1名出場し、全階級の総計で大学のランクを決める同大会に、本県選手も活躍、特に安定感を増した松本篤史がインカレに続き優勝。日体大の総合優勝に大きく貢献した。

(邑楽) ◇28kg級 神藤俊(同) ◇28kg級 石川弘人(同) 【幼年】◇17kg級 加藤敦史(館林) ◇21kg級 清水聖那(邑楽) ◇21kg級 中里優斗(太田)

【中学生男子】◇170kg級 今村聖(太田) 【中学生女子】◇43kg級 大関蘭(おた) ◇56kg級 金子和(千代田) ◇56kg級 鈴木紅夏(太田) 【5〜6年男子】◇30kg級 小島彩暉(大間々) ◇51kg級 木村優太(千代田)



上武洋次郎杯を獲得した小林奏音

11月16日(日)、邑楽町民体育館において「第4回上武洋次郎杯少年少女レスリング大会」が行われた。MVPに相当する上武杯を地元・邑楽ジュニアの小林奏音が獲得した。県内選手の優勝者は次のとおり。

上武杯は小林奏音(邑楽) 大関蘭2年ぶり優勝! 上武杯少年レスリング大会

◇55kg級 ③正保佳史(群大) ◇60kg級 ③紋谷哲平(日大) ◇84kg級 ①松本篤史(日体大)

11月15・16日、駒沢公園体育館で「全日本大学グレコローマン選手権大会」が行われた。2度にわたるハンガリー遠征で力をつけた山田亨が準優勝、また船山直樹も3決進出。群大パワーを大いにアピールした。

山田亨(群大)準優勝! 群大勢の活躍が光る! 全日本大学グレコ選手権

11月28・29日、東京NTCで「日本学生レスリング秋季新人戦」が行われた。富実高出身のパワーファイター・福田翼が早くも頭角を現し、第2位に食い込んだ。

福田翼(拓大)第2位! 岩永義成(群大)も銅! 東日本レスリング秋季新人戦

【5〜6年女子】◇43kg級 大出若奈(千代田) ◇53kg級 鈴木芽衣(太田) ◇53kg級 浜岡佑帆(伊勢崎) 【3〜4年】◇42kg級 田部井祐太(邑楽) 【1〜2年】◇20kg級 清野大輝(邑楽) ◇28kg級 小林奏音(同)

松本隆太郎(群馬ヤクルト) 国体連覇

国民体育大会

9月28日〜10月1日、大分県佐伯市総合体育館において「国民体育大会レスリング競技会」が行われた。昨年は総合第5位となったが、1〜2年生が多い今年の高校生メンバーは経験不足が否めず早期敗退。しかし、成年で松本隆太郎が実力を見せつけ2連覇達成。全日本初優勝に駒高い王手を放った。



豪快なボディスラムを決める松本! (写真はJOC)

戦力充実の関学優勝! 84は恩田和明(大泉) 群馬県高校新人大会



新人戦団体優勝の関学メンバー

①松本隆太郎(群馬ヤクルト) ◇60kg級

11月1・2日、城沼体育館において「群馬県高校レスリング新人大会」が行われた。団体戦では戦力充実の関学が久々の優勝。関東選抜で勝負をかける。団体戦の順位と個人戦の優勝者は次のとおり。

【団体戦】①関学大附高 ②前西高 ③館高

◇55kg級 池田圭介(館高) ◇60kg級 菊井悠介(前西高) ◇66kg級 橋口光太郎(関学) ◇74kg級 木村政貴(館高) ◇84kg級 恩田和明(大泉高) ◇96kg級 小久保直貴(関学) ◇120kg級 竹内将美(富実高) 【女子】◇軽量級 岡田千晴(西邑楽) ◇中量級 上原榛奈(前西高) ◇重量級 新井明恵(富実高)

萩本龍(千代田)優勝 邑楽Jrは9階級獲る! 群馬県小学生総体

11月2日(日)、城沼体育館で「第32回群馬県小学生総合体育大会レスリング競技会」が行われた。6年生にとっては最後の大会となるだけに、各選手奮闘。千代田ジュニアの萩本龍が落ち着いた試合運びで優勝、また、邑楽ジュニアは19階級中9階級で優勝した。

優勝者は次のとおり。 【小学5〜6年】◇30kg級 小島彩暉(大間々) ◇34kg級 金子麗一(同) ◇39kg級 加藤千寛(館林) ◇45kg級 萩本龍(千代田) ◇51kg級 石岩寛鷹(邑楽) 【小学3〜4年】◇24kg級 清水翼(邑楽) ◇28kg級 高橋幸大(同) ◇33kg級 栗原零(千代田) ◇39

なでしこGUNMAのレスクイーン



前橋西高校 上原 榛奈さん(1年)

私は中学まで柔道をしていましたが、柔道の先生から「レスリングに向いている」といわれ、よく考えた末に前西高レスリング部に入りました。柔道と違った楽しさがあり、やっぱりレスリングに向いているのかなと最近思い始めました。小林先生は厳しいけど、選手のことをよく考えてくれるなと思います。尊敬するレスラー? 菊井先輩ですね(笑)。本当です! それとオリンピックで2大会連続で銅メダルを獲った浜口京子さんです。もう歳なのによく頑張っているなと思います。目標は、自分が納得できる、いい試合をするということです。

闘虎

No. 17 Wrestling

群馬県レスリング協会広報紙
平成21年 冬季号



ミスターレスリングの邂逅!

全日本マスターズレスリング選手権大会

1月18日(日)、国立青少年センターにおいて「全日本マスターズレスリング選手権大会」が行われた。年々往年の強豪選手が参加し、特にフリー74kg級はかつての全日本選手権を髣髴させるエントリー。その中で優勝したのは元全日本王者で太田倶楽部出身の小柴健二さん。84kg級は太田倶楽部監督・今村直樹さんが4連覇を達成、またグレコローマン74kg級は兄・今村浩之さんが優勝。この不滅の太田倶楽部魂を持つ「ミスターレスリング」による固い握手という、またとない光景を目の当たりにすることができた。そのほか本県の入賞者は次のとおり。

- 【35~40歳】◇60kg級 ③川島義弘(県レス協) ◇96kg級 ①松島秀行(邑楽jr)
- 【51~60歳】◇+96kg級 ①島田宏(同)
- 【61~64歳】◇66kg級 ②石田直見(伊勢崎スパークラズ)
- 【フレッシュマンズ】◇C級 ②石山浩基(県レス協) ◇E級 ③勅使川原哲也(群大クラブ)

◆発行/群馬県レスリング協会会長 柳川益美 ◆編集/群馬県レスリング協会広報委員会

クラブ探訪

レスラーファクトリーを訪ねて

第17回 藤岡北高校



細々でも着実選手育成!
藤岡高崎を一大拠点に!

取材した日は藤岡北レスリング部の卒業式でした。写真の部員が持っているのはレスリング部員用の卒業祝トロフィー。このたった3人の卒業式を見て目頭が熱くなる思いがしました。藤岡北レスリングが誕生したのは平成11年。梅山友久先生が創部しました。キャンパスを見ると館高が使用していたもので、その下のマツは前橋商業、高崎工業時代のもの。梅山先生は前商時代(S53年)、館高のインターハイ連続出場をストップさせて福島総体に団体出場を果たしています。高工時代(S52年)も県総体団体戦でやはり館高の連覇を止めた経験があります。

「定年になったら高崎市地域密着型総合スポーツクラブでジュニアレスリングを立ち上げます。藤岡・高崎地区に厚みを加えて一大拠点にしたいですね」と将来展望を語る梅山先生。このクラブでバドミントンをやっていたのが写真の長瀬昌志くん。この春から東京農大でレスリングを続行。昨年スウェーデン遠征を経験した濱田早織(写真中央)さんは就職、伊勢崎スパークラズ出身の岡本幸恵さんは栄養福祉専門学校へ進みます。元気に道場から巣立った3人を見て、「梅山将来展望」も夢ではないと感じました。

SCHEDULE

- 少年少女レスリング おおまき大会
3月15日(日)
大間々東中体育館
- JOC兼全国少年選抜大会
3月7日(土)・8日(日)
代々木第2体育館
- 全国高校選抜大会
3月27日(金)~29日(日)
新潟市体育館
- 全日本女子レスリング選手権大会
4月5日(日)
東京・駒沢公園体育館
- 群馬県高校総体
5月15日(金)~17日(日)
館林市民体育館



日野重夫さん(太田市・57歳)

レスラーファクトリー

(思い出の一葉)

□昔の写真はないかといわれて探しただけ、これしかなかったですね。左に写っているのはもちろん高田裕司だけど、何のときの写真だか、全然覚えていないですね。バックをよく見ると市民会館のようで、おそらくオリンピックかなんかの壮行会だと思っただけと昭和50年代前半。高田は私が大泉高校3年のとき入って来たんだけど、「これは強くなるな」とすぐ感じましたよ。大量離脱事件のときもクラブを成り立たせるため、私は土下座してまで部員を戻したけど、最悪でも高田一人だけは何としても残そうと思いましたね。その後の高田の活躍は皆さんの方がよくご存知でしょうが、今は日本レスリング協会の専務理事ですからね。私はモントリオールで金メダルを取ったときのシューズをもらったんですよ。どこかへ行っちゃったけど、とっておけばよかったなあ。

HERO'S IN GUNMA



今村 聖選手 (太田倶楽部)

関東甲信越大会は大きな大会ですが、「優勝しなければ!」などという気負いは特にありませんでした。いつもどおり、平常心で臨みました。その結果、優勝できたのは皆さんのおかげです。高校に行ってから目標ですか? これも大きいとは言わず、まず一人でも多く先輩たちを倒す。全中優勝ということはいいい意味で忘れて、1からのスタートで頑張りたいと思います。

**着実成長の松本篤史!
全日本選手権第2位!
全日本レスリング選手権**
12月21~23日、代々木第2体育館において「天皇杯全日本レスリング選手権大会」が行われた。グレコ66キロの第一人者・笹本睦が抜けた

- 田) ◆重量級 鈴木紅夏(太田)
- 【小学5~6年】◆51kg級 萩本龍(千代田) ◆57kg級 木村優太(同)
- ◆157kg級 石岩寛鷹(邑楽)
- 【小学3~4年】◆24kg級 加藤柁哉(館林)
- 【小学1~2年】◆32kg級 石川弘人(邑楽) ◆132kg級 小林奏音(同)
- 【幼年】◆17kg級 加藤敦史(館林)

しかし、隆太郎の弟で学生王者の松本篤史(千代田jr)館高1日体大3年)がフリー84キロで元全日本王者・松本真也(警視庁)を撃破し決勝進出。決勝では五輪選手・小幡邦彦に経験の違いを見せ付けられたが、隆太郎・篤史の「全日本兄弟優勝」も夢ではないことを示した。

め、優勝候補に挙げられていた松本隆太郎(千代田jr)館高1日体大1(株)群馬ヤクルト)は2回戦で城戸義貴(自衛隊)に不覚。全日本制覇は持ち越しとなった。

- 【中学生男子】◆38kg級 増山郁人(千代田) ◆66kg級 栗原吹(同)
- ◆73kg級 鈴木海人(太田) ◆85kg級 今村聖(同)
- 【中学生女子】◆52kg級 金子和(千代田) ◆62kg級 鈴木紅夏(太田)
- 【小学5~6年男子】◆52kg級 木村優太(千代田)



攻撃レスリング! 栗原吹!

12月7日(日)、千代田町総合体育館において「第14回千代田近接少年レスリング大会」が行われた。最優秀選手賞に輝いたのは小学生の部で木村優太、中学生の部で金子和。さらに軽量級の新星・増山郁人や全中王者で千代田のエース・栗原吹も優勝するなど、地元・千代田jr勢の活躍が目を見張った。

**木村優太と和がMVP
増山郁人と吹も優勝!
千代田近接少年レスリング大会**

1月17日(土)、明和町ふるさと産業文化館ホールで「大いなる夢・オリンピックへの挑戦」と題し、アテネ・北京五輪メダリストの伊調千春さん・馨さんと全日本女子ヘッドコーチ・栄和人さんによる講演会が開かれた。レスリングにかけの思いを熱く語ってもらい、オリンピックでメダルを手にするまでの壮絶すぎる舞台裏を聞いた後は、明和クラブの子供たちが壇上に上がり記念撮影。その後の同クラブの練習に栄コーチが参加。タックル打ち込みを指導してくれた。



明和クラブの子供たちと伊調姉妹!

**五輪金・銀メダリスト
伊調姉妹が明和にきた!
伊調姉妹・栄コーチ講演会**
帆(伊勢崎) 【5~6年女子】◆66kg級 浜岡佑

今村聖 (太田倶楽部) 関甲信初優勝!

関東甲信越少年レスリング大会

2月22日(日)、城沼総合体育館において「第17回関東甲信越少年レスリング大会」が行われた。相変わらず多数の参加者があり、体育館いっぱい敷き詰められた6面マットで元気いっぱいの試合が展開された。その中で、太田倶楽部の今村聖が本領発揮。全中王者の意地を見せたほか、県内から4人が優勝した。



中学後半になってから格段に力をつけた今村聖

- 【小学5~6年】◆56kg級 木村優太(千代田)
- 【5~6年女子の部】◆50kg級 鈴木芽衣(太田)

群馬の選手多数入賞! 団体戦は関学準優勝! 関東高校選抜レスリング大会

1月31日~2月1日、東京・駒沢公園体育館において「関東高校選抜レスリング大会」が行われた。団体戦では戦力充実の関学が決勝まで進出。決勝では霞ヶ浦に敗れたが、群馬代表として久々の上位となっただけに、全国選抜での一層の活躍を期待したい。

- 【中学生男子】◆73kg級 今村聖(太田)
- 【小学生男子】◆50kg級 池田圭介(館高)
- ◆60kg級 ③菊井悠介(前西高)
- ◆66kg級 ③橋口光太郎(関学)
- ③板垣光生(早大本庄・大間々くらボブ) ◆74kg級 ⑤飯田将彦(関学)
- ⑤亀山晃寛(大泉) ◆84kg級 ③恩田和明(大泉高) ◆120kg級 ⑤竹内将美(富実高)

好調・萩本龍MVP! 石川弘人も優秀選手! 館林市スポ少クラブ交流大会

1月12日(月)、城沼総合体育館において「平成20年度館林市スポーツ少年団レスリングクラブ交流大会」が行われた。1カ月後に開催される「関甲越」の前哨戦として他県列強を迎え撃った県内クラブの中で、特に千代田jrの6年生・萩本龍と邑楽jrの2年生・石川弘人が力を発揮、最優秀選手賞、優秀選手賞をそれぞれ獲得した。



萩本龍(右)と石川弘人(左)

- 【中学生男子】◆47kg級 戸ヶ崎飛翔(館林) ◆73kg級 今村聖(太田)
- 【中学生女子】◆軽量級 大関蘭(おた) ◆中量級 木村安里(千代)



富岡実業高校 新井 明恵さん(2年)

なでしこGUNMAのレスクイーン

私は兄(智明・拓大4年)、姉(千明・早稲田大1年)がレスリングをやっていたので、レスリングには自然に入った感じです。中学までは柔道をやっていた「レスリングも同じようなものだろう」と思っていました。全然違いました。すごいハードです。でも、その分試合で勝ったときがうれしいです。来月クリッパン国際大会に出場しますが、スウェーデンに行くのは昨年に続き2度目です。昨年は外国人のすごい動きと力に圧倒されて勝てませんでした。今年には優勝できるように頑張ります。将来は清水真理子先生のように、強いレスラーになることが目標です。